

②市民の外国人に対する意識について

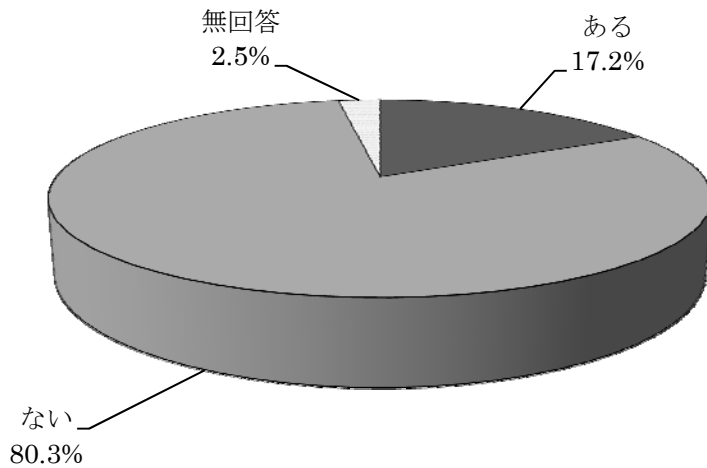
名古屋市では、平成23年3月末現在、外国籍をもつ市民は、人口の約3%、67,000人を超えており、平成元年に比べて約2倍になっています。人口の増加とともに国籍も多様化し、様々な課題が生じています。

こうした状況について、市民の皆さまのご意見をおたずねし、外国人市民と日本人市民がともに暮らしやすいまちづくりをすすめるうえでの参考とさせていただくものです。

※各図表の「N」は回答者総数を表しています。

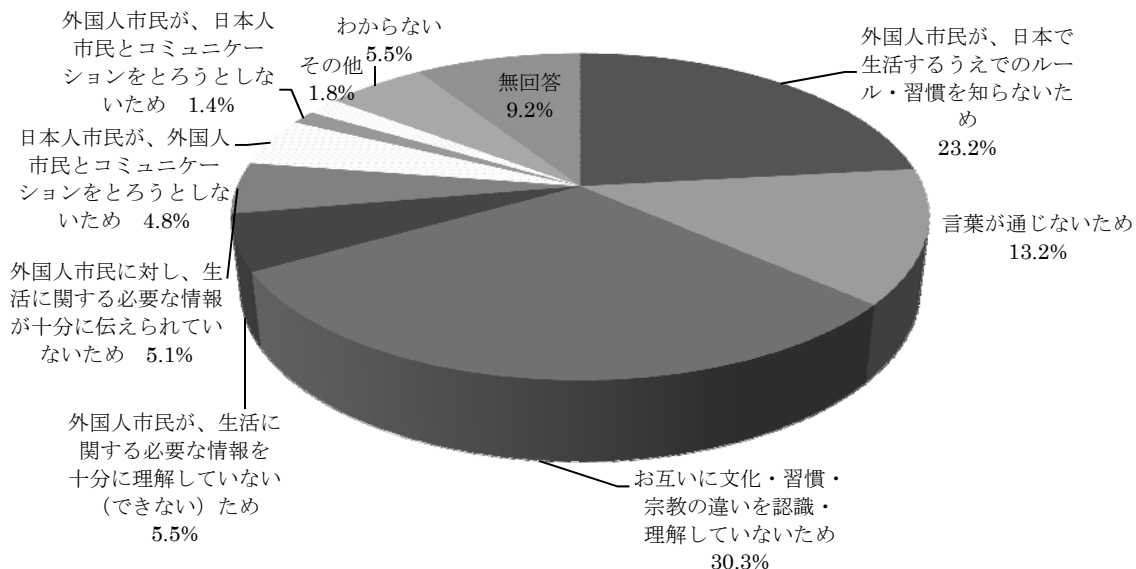
問14 あなたは、外国人市民と地域や職場・学校などで、トラブルになったり、とまどったりした経験がありますか。(外国人市民の方は、日本人市民との経験についてお答えください。)(○は1つだけ)

N=960



問15 外国人市民に関連してさまざまな問題が発生したり、外国人市民が生活しにくい状況が発生したりしていると言われていたことについて、あなたはどのようなことに原因があると思いますか。(○は1つだけ)

N=960

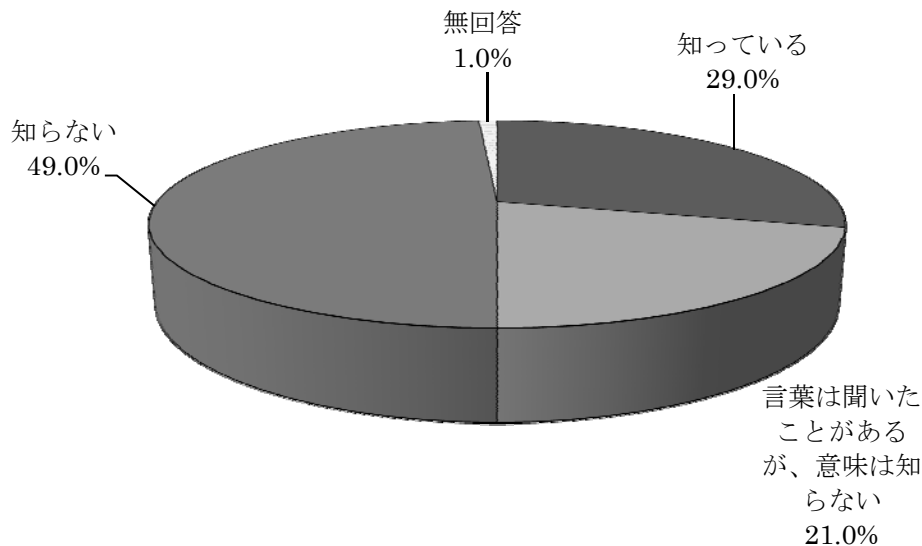


「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員としてともに生きていくこと」を「多文化共生」といいます。

名古屋市では、このような外国人市民と日本人市民がともに暮らしやすい多文化共生のまちづくりをすすめており、その実現のためには、市民の皆さまによる取り組みも重要であると考えています。

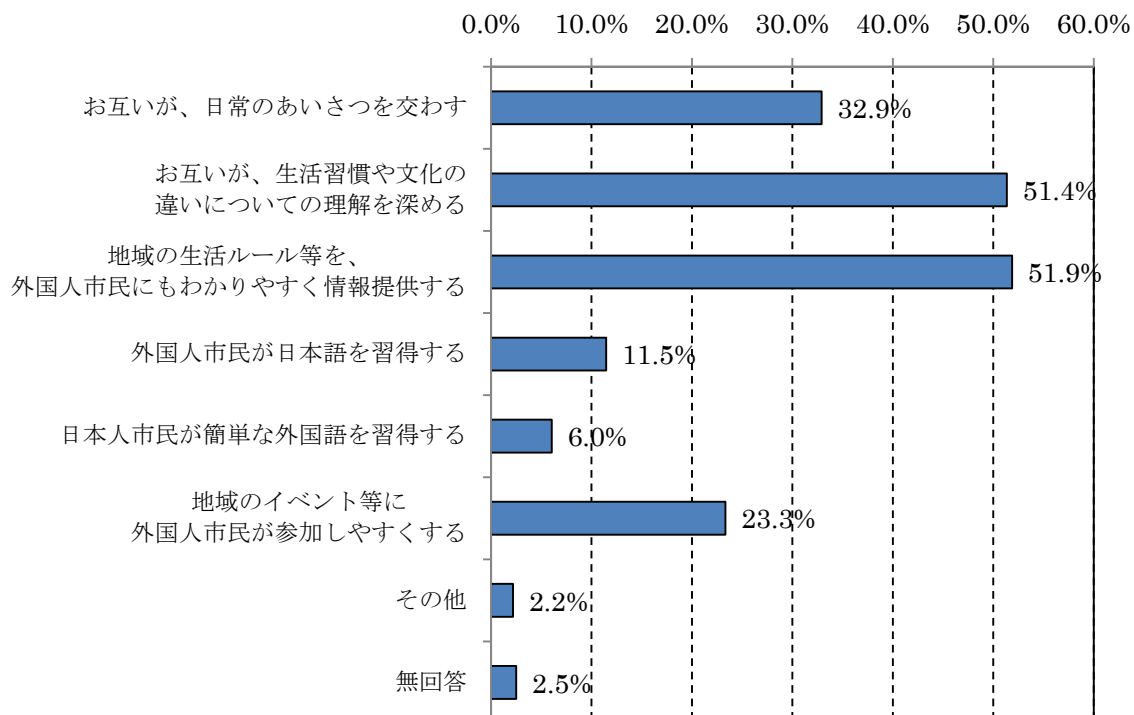
問 16 あなたは、「多文化共生」という言葉を知っていましたか。(○は1つだけ)

N=960



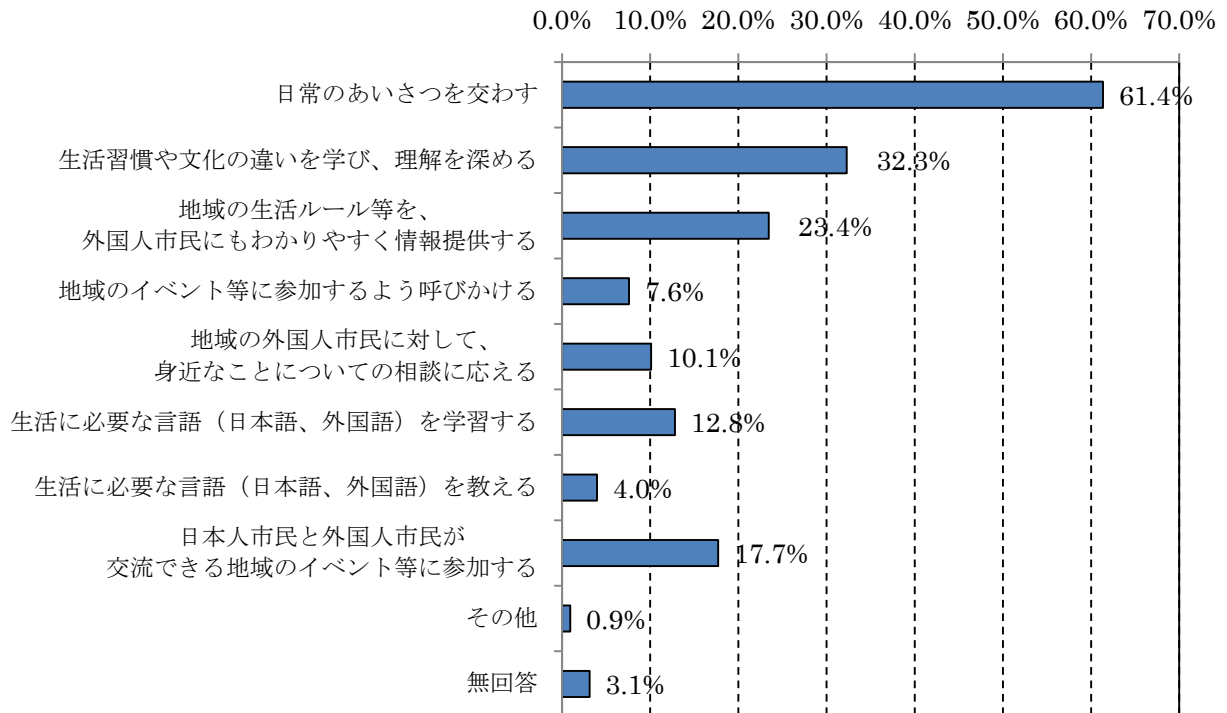
問 17 あなたは、多文化共生のまちづくりを実現するために、市民の取り組みとしてどのようなことが必要だと思いますか。(○は2つまで)

N=960



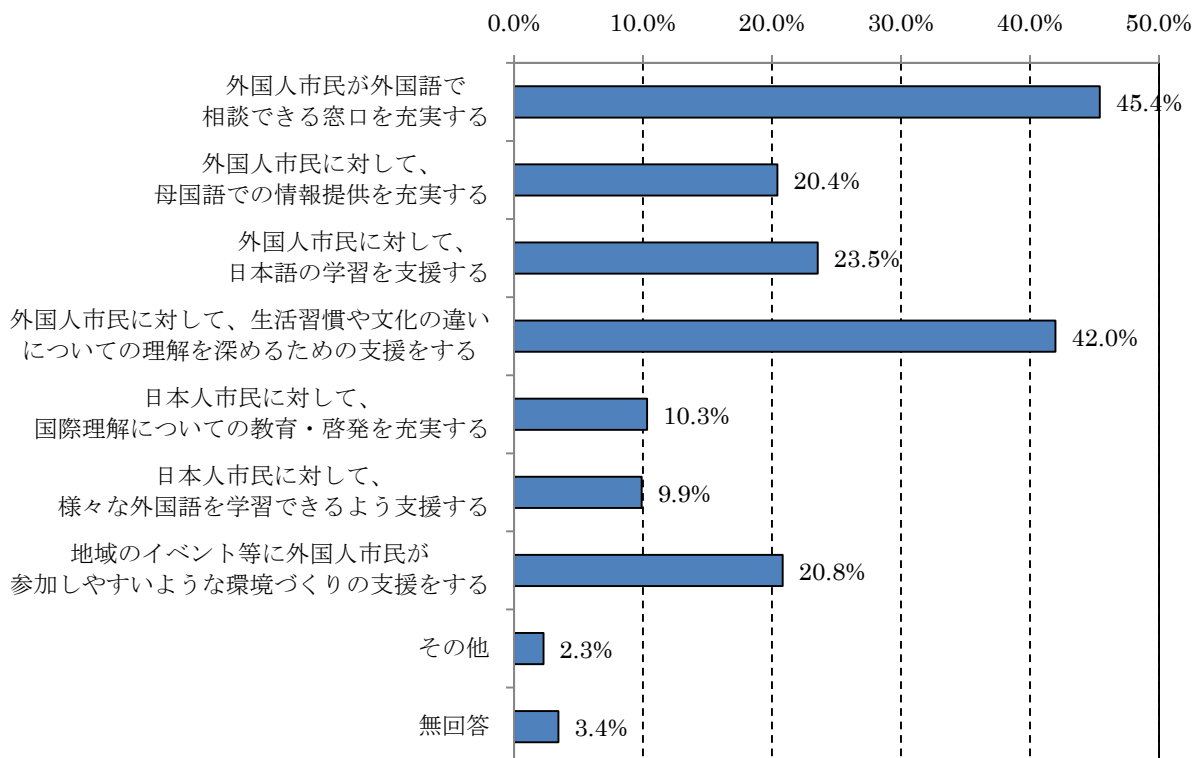
問 18 実際にあなたが行なってもよいと思われることはどれですか。（○は2つまで）

N=960



問 19 多文化共生のまちづくりを実現するために、名古屋市などの行政がどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。（○は2つまで）

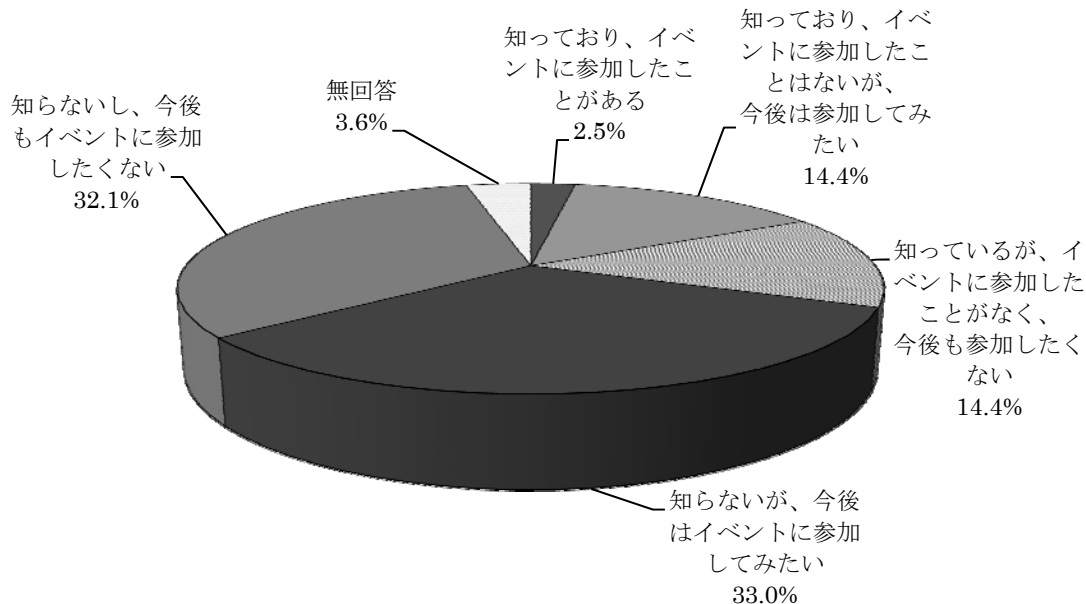
N=960



名古屋国際センターでは、外国人講師とともに学ぶ参加型の国際理解学習「国際カレッジ」や、地域の外国人市民と日本人市民が交流を行うイベントを開催したり、外国人市民への情報提供や相談事業を行ったりしています。

問 20 あなたは、名古屋国際センターで国際交流イベントなどが行なわれていることを知っていますか。(○は1つだけ)

N=960



問 21 多文化共生のまちづくりについて、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

- ・私自身は身近に外国の方がいないため、直接感じる事はありませんが、これからは、多文化共生のまちづくりに積極的に取り組まなければいけないと思います。
ただ、テレビ等で問題や犯罪等のニュースを見ると尻込みするのも事実であります。やはり外国の方には日本の文化や生活習慣、日本人には外国の文化等を広く知られる様にしなくてはいけないと思います。
- ・名古屋市がもっと積極的に本腰を入れて多文化共生について考え、日本人市民にも外国人市民にもその姿勢や方針を開示してくれたらと思います。
- ・外国人市民への様々なイベント等を行うことは賛成ですが、場所については出来るだけ小さい単位で行ってほしいと思います。区単位や町内単位で。外国人も日本人も近くでそのようなイベント、相談窓口があれば足を運びますが、遠い所には金銭的な負担もあり、参加しづらいと思います。
- ・子育てサロンなどを通じて、外国人の方々と話す機会があれば良いかな。子供は外国語も気にせず打ち解けやすく、それにつられて親もあいさつ程度から話していきやすくなると思います。日本人同士でも知らない仲だとイベントするのも困難なので、まずはあいさつからお互いを知って仲良くなるのが共生していくのに良いです。
- ・相手のことを深く知らなくても、あいさつを交わしあう間柄になれば何か困ったことがあった時相談のったり、話を聞いたりする気持ちが生まれると思う。特に外国人だからと身構えないで日本人と同じように接すればいいのでは。

ほか